

第104期

事業のご報告

ミニディスクロージャー



自・令和3年4月1日～至・令和4年3月31日



あなたの未来へ こうしんと



甲府信用金庫



皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より甲府信用金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫は、産業組合法に基づく「甲府信用組合」として大正7年に創業し、以来、昭和、平成、令和と4つの時代にわたり、地域社会の発展とともに今日の営業基盤を築いてまいりました。これもひとえに、皆さまの温かいご理解と格別のご支援の賜物と深く感謝いたします。

ここに第104期の事業概況と決算内容を取りまとめましたので報告申し上げます。

令和3年度の県内経済は、人口減少や少子高齢化、事業所の縮減などの構造的な課題に、コロナ禍による経済活動の抑制が重なり、厳しい状況が続きました。特に、当金庫の主要な取引先である中小事業者の方々には、大きな影響を受ける業種も多く、経営環境は難しい局面にあります。さらに、変異株による流行再拡大や円安の進行、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とした物価上昇など、世界的にも先行きの不確実性がさらに強まっています。

このような環境下、当金庫では、創業の精神である「地元との共存共栄」の実践に努めてまいりました。

預金の期末残高は5,124億円、貸出金の期末残高は2,117億円となり、ともに順調に増加しました。また、経常収益は63億26百万円、本業の収益力を示すコア業務純益は14億83百万円、当期純利益は10億42百万円と増収増益の結果となり、経営の健全性を示す自己資本比率も0.67ポイント上昇し、16.85%と高水準を維持しております。

令和4年度も、超低金利市場の長期化や地域経済の停滞による影響が続くと予想されますが、中小企業専門の地域金融機関として当金庫に求められる社会的使命を強く自覚し、地域経済の下支えを担うため、役職員一丸となって業務に取り組んでいく所存です。

皆さまには、何卒より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

理事長 小田切 繁

あなたの未来へ

こうしんと!

WITH KOUSHINI

～地域と共に未来へ歩み続ける
『こうしん』を目指して～

創業の精神

「地元との共存共栄」

基本理念

1. 地元中小企業の健全な発展
2. 豊かな県民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

甲府信用金庫の概要

本店	甲府市丸の内2丁目33番1号
TEL	055-222-0231 (代表)
創立	大正7年5月4日
会員数	34,085人
出資金	1,692百万円
役職員数	336人
店舗数	23店舗
	(令和4年3月31日現在)



『武田の信ちゃん』

業績の推移

預金・貸出金について

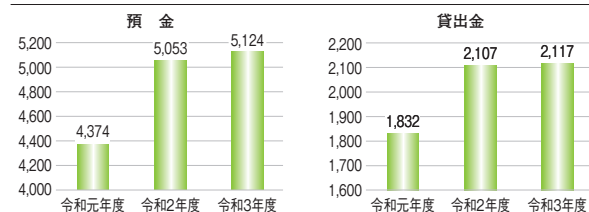
預金は、個人預金を中心に順調に増加し前期比70億円増加の5,124億円、期末残高としては過去最高となりました。

貸出金は「コロナ関連融資」をはじめとする資金繰り支援を中心に前期比9億円増加の2,117億円となりました。

今後とも地域経済の発展に貢献するよう様々な取り組みを行ってまいります。

預金・貸出金の推移

単位：億円



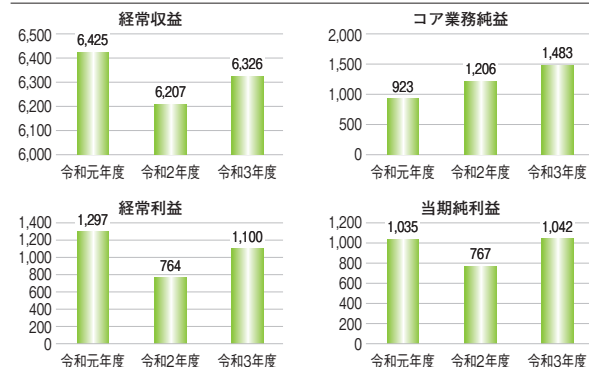
収益について

令和3年度の収益は、経常収益6,326百万円、コア業務純益1,483百万円、経常利益1,100百万円、当期純利益1,042百万円と前期比で増収増益となりました。

引き続き、安定的な収益を確保し、経営基盤の強化に努めてまいります。

収益の推移

単位：百万円



(注) 本ページ以降に記載の数値は、単位未満の端数を切り捨てて表示しているため、合計値や増減額が一致していない場合があります。

貸出金の業種別の状況

特定のお取引先や業種に偏ることなく、事業者や個人のお客さまなど幅広く地域の皆さまにご利用いただいております。

貸出金業種別内訳

(単位：残高・百万円、比率・%)

業種区分	令和3年3月末		令和4年3月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	15,908	7.5%	15,427	7.2%
農業・林業	253	0.1%	245	0.1%
漁業	—	—	—	—
鉱業・採石業、砂利採取業	343	0.1%	293	0.1%
建設業	16,853	7.9%	17,076	8.0%
電気、ガス、熱供給、水道業	4,990	2.3%	4,703	2.2%
情報通信業	513	0.2%	747	0.3%
運輸業、郵便業	4,833	2.2%	4,614	2.1%
卸売業、小売業	28,085	13.3%	28,660	13.5%
金融業、保険業	12,118	5.7%	12,106	5.7%
不動産業	14,619	6.9%	13,776	6.5%
物品賃貸業	716	0.3%	641	0.3%
学術研究、専門・技術サービス業	1,913	0.9%	1,956	0.9%
宿泊業	1,878	0.8%	1,925	0.9%
飲食業	4,293	2.0%	4,474	2.1%
生活関連サービス業、娯楽業	4,433	2.1%	4,241	2.0%
教育、学習支援業	252	0.1%	280	0.1%
医療、福祉	8,806	4.1%	9,178	4.3%
その他のサービス	6,050	2.8%	5,953	2.8%
地方公共団体	25,960	12.3%	26,821	12.6%
個人	57,908	27.4%	58,596	27.6%
合計	210,733	100.0%	211,722	100.0%

(注)業種区分は、日本標準産業大分類に準じて記載しています。

有価証券の状況

お客さまからお預かりした預金積金は、貸出金や金融機関預け金のほか有価証券で運用しています。

有価証券は、安全性や流動性、収益性に留意し運用を行っております。

有価証券残高構成

(単位：億円)

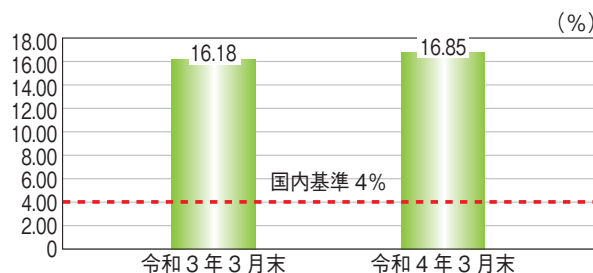
	令和4年3月末	
	残高	構成比
国債	234	15.4%
地方債	246	16.3%
社債	843	55.8%
外国証券	75	4.9%
株式	0	0.0%
その他証券	111	7.3%
合計	1,511	100.0%

自己資本比率

(単位：百万円)

項目	令和4年3月末
(1) コア資本にかかる基礎項目	28,841
普通出資または非累積的永久優先出資にかかる会員勘定の額	27,796
うち 出資金および資本剰余金の額	1,692
うち 利益剰余金の額	26,200
コア資本にかかる基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,045
うち 一般貸倒引当金コア資本算入額	1,045
(2) コア資本にかかる調整項目(控除項目)	776
無形固定資産の額の合計額	46
繰延税金資産の額	327
前払年金費用の額	402

$$\frac{\text{自己資本の額 (1) - (2)} \quad 28,065 \text{ (分子)}}{\text{(3) リスク・アセット等} \quad 166,532 \text{ (分母)}} \times 100 = 16.85\%$$



金融再生法債権の状況

甲府信用金庫は、資産の健全性を維持するため、厳格な自己査定に基づき、適正に償却・引当を行っています。金融再生法に定められた開示債権は下記の表のとおりですが、それぞれ担保・保証および引当金でカバーすることにより、資産の健全性は引き続き維持されています。

金融再生法開示債権 (単位：金額百万円、比率%)

区分	令和2年度	令和3年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ①	3,524	4,489
危険債権 ②	3,380	3,042
要管理債権 ③	1,120	1,469
うち3か月以上延滞債権	—	—
うち貸出条件緩和債権	1,120	1,469
正常債権 ④	203,462	203,395
合計 ⑤	211,487	212,396
金融再生法上の不良債権計 ⑥=①+②+③	8,025	9,001
総与信に対する割合 ⑥÷⑤×100	3.79	4.23

金融再生法上の不良債権に対する保全状況

項目	令和3年度	令和4年3月末
貸倒引当金 ⑦	2,510	2,945
担保・保証等による回収見込額 ⑧	4,659	5,252
保全額 ⑨=⑦+⑧	7,170	8,198
保全率 ⑨÷⑥×100	89.34	91.07
担保・保証等控除後債権に対する引当率 ⑦÷(⑥-⑧)×100	74.59	78.57

(注) 貸倒引当金は、個別貸倒引当金および要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

出資金の状況

普通出資

普通出資1口の金額 50円

普通出資者の出資の最低限度額 5,000円 (令和3年度末)

区分	出資者数(人)	出資金額(百万円)	処分未済持分(百万円)
個人	29,371	1,376	45
法人	4,714	316	18
合計	34,085	1,692	63

店舗・役職員の状況

項目	令和2年度末	令和3年度末
役職員数(人)	358	336
店舗数(店)	23	23
店外ATM(カ所)	25	23

(注) 店外ATMには、山梨信用金庫が主幹事のATMを含みます。
(令和2年度3カ所 令和3年度3カ所)

庶務の概要

1. 総代会

令和3年6月25日、常磐ホテル富士の間において第103期通常総代会を開催し、下記議案が原案どおり承認可決されました。

報告事項

第103期 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

決議事項

第1号議案 第103期剰余金処分案承認の件

第2号議案 会員除名の件

信用金庫法第17条(法定脱退)および定款第15条第1号により会員25先、第2号により会員83先を除名しました。

第3号議案 総代候補者選考委員の選出の件

総代会の機能向上策等に伴い、総代の選任のために置く選考委員は、総代会の決議を経て決定することになりましたので、7地区からそれぞれ4名の委員を選出し、全員異議なく承認されました。

第4号議案 定款の一部変更の件

長期間所在が不明である会員(所在不明会員)除名にあたり、住所等の解釈を明確にするため、括弧書きにより補記した文言を追加しました。

第5号議案 理事選任の件

理事候補者10名を推薦し、全員異議なく承認されました。

第6号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

退任役員に対し、当金庫役員退職金規定に基づき、贈呈することとしました。

2. 主たる登記事項

令和3年4月2日、出資の総口数(34,257,003口)および出資総額(1,712,850,150円)の変更を登記しました。

3. その他

令和4年3月30日 総代の改選

事業の概要

第104期は、新中期経営計画「こうしんInnovation Challenge2021」の初年度として、「コンサルティング機能の発揮」「強固な経営基盤の確立」「顧客ニーズに応えるための人材育成」を戦略の柱として取り組みました。

また、「こうしん飲食店応援カードローン」の取り扱い開始など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の皆さまへの資金繰り支援を継続するとともに、事業再構築や売上向上策の提案など伴走支援の展開に注力しました。

当金庫を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続きましたが、創業の精神である「地元との共存共栄」に徹し、取り組んだ結果、以下の業績となりました。

(預金・貸出金)

預金の期末残高は、前期比70億円増加し5,124億円となり、期末残高としては過去最高となりました。貸出金の期末残高は、前期比9億円増加し2,117億円となり、2,100億円台を維持しました。

(為替)

内国為替取扱件数は前期比22千件増加し1,886千件となり、取扱高は前期比510億円増加し10,363億円となりました。また、外国為替は、総取扱件数が前期比24件増加し、総取扱高は前期比18百万ドル増加しました。

(損益状況)

当金庫の主要収益である資金運用収益のうち、貸出金利息は、新型コロナウイルス関連融資への継続的な対応や個人向けローンへの積極的な取り組みにより前期比で増加しました。また、業務の効率化や経費の節減により利益の確保を図る一方で、将来を見据えた資産内容の健全化に向けて不良債権処理にも適切に取り組みました。

その結果、経常収益は前期比で119百万円増加し6,326百万円、経費や貸出金償却を含めた経常費用は前期比で216百万円減少し5,226百万円、経常利益は335百万円増加し1,100百万円となり、当期純利益は前期比で275百万円増加し1,042百万円となりました。

(店舗等)

当金庫では、老朽化が進む店舗の建替えを計画的に行うなど、店舗環境を整備してきました。これからも、お客さまへのサービス向上を念頭に、設備の更新を進めてまいります。

また、店外出張所（ATM）は、設備の状況や利用状況に応じて見直しを行っており、6月には竜王出張所、8月にはオギノリパーシティ出張所を廃止しました。

1年間の取り組み

2021年	
4月1日	「こうしんSDGs」宣言公表
5月1日	営業店窓口支援システム導入(6店舗:本店営業部・湯村・南・西・甲斐・石和支店)
8月1日	投信インターネットサービスの取扱開始
8月3日	企業主導型保育園の利用協定書締結(2020年度累計2件目)
9月1日	一般社団法人山梨県中小企業診断士協会との「中小企業・小規模事業者の支援に係る相互協力に関する覚書」の締結
10月1日	事業性融資(SDGs応援ローン・飲食店応援カードローン)の新規取扱開始
11月4日	「やまなし健康経営優良企業認定制度」に基づく健康宣言
11月8日～12日	「やまなしジュエリーウィーク」イベント参加
11月22日	出前館「デリバリーサービス」の提供を通じた飲食店支援のため(株)フォネットさまと提携
11月30日	～しんきん中部横断道コネクト～中部横断自動車道開通に伴う連携に関する協定書の締結
12月7日～8日	「こうしん事業承継個別相談会」2日間開催
1月12日	「やまなし健康経営優良企業」認定取得
2月8日～28日	当庫役職員献血運動の実施
2月24日	当庫と山梨信用金庫の共同推薦により信金中央金庫は創設70周年記念事業地域創成推進スキーム「SCBふるさと応援団」による寄付金1,000万円を甲府市に贈呈
3月8日～9日	「こうしん雇用労務相談会」の2日間開催
3月30日	「公益財団法人しんきん育英会」奨学生を5名採用(卒業生182名)

トピックス

令和3年10月1日
新型コロナウイルス感染症の影響が大きい飲食店事業者さまの支援のため、「飲食店応援カードローン」の取扱いを開始。
※令和4年3月31日時点で121件の飲食店事業者さまにご利用いただいております。



令和3年10月9日
地元小学校による職場見学(本店営業部)

令和4年1月12日
職員の健康状態の保持・増進の取り組みが将来的に収益性等を高める投資であるとの考えのもと健康宣言し「やまなし健康経営優良企業認定」取得。



令和4年2月24日
「SCBふるさと応援団」寄付金贈呈(甲府市役所内)

貸借対照表

第104期 令和4年3月31日現在

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	4,251	預金積金	512,478
預け金	221,272	当座預金	7,557
買入金銭債権	718	普通預金	231,793
有価証券	151,105	貯蓄預金	1,042
国債	23,413	通知預金	1,255
地方債	24,670	定期預金	242,530
社債	84,322	定期積金	9,902
株式	17	その他の預金	18,396
その他の証券	18,681	借入金	52,622
貸出金	211,722	借入金	52,622
割引手形	899	その他負債	1,263
手形貸付	15,141	未決済為替借	156
証書貸付	186,970	未払費用	435
当座貸越	8,711	給付補填備金	1
外国為替	283	未払法人税等	6
外国他店預け	283	前受収益	137
その他資産	2,674	払戻未済金	20
未決済為替貸	126	職員預り金	222
信金中金出資金	1,961	金融派生商品	4
未収収益	459	リース債務	19
金融派生商品	0	資産除去債務	164
その他の資産	126	その他の負債	95
有形固定資産	5,401	賞与引当金	118
建物	3,948	役員退職慰勞引当金	142
土地	1,235	睡眠預金払戻損失引当金	4
リース資産	19	偶発損失引当金	201
その他の有形固定資産	199	債務保証	516
無形固定資産	64	負債の部合計	567,348
ソフトウェア	40	(純資産の部)	
その他の無形固定資産	23	出資金	1,692
前払年金費用	556	普通出資金	1,692
繰延税金資産	203	利益剰余金	26,200
債務保証見返	(516)	利益準備金	1,849
貸倒引当金	△ 3,517	その他利益剰余金	24,351
(うち個別貸倒引当金)	(△ 2,673)	特別積立金	23,130
		当期末処分剰余金	1,221
		処分未済持分	△ 63
資産の部合計	595,252	会員勘定合計	27,829
		その他有価証券評価差額金	74
		評価・換算差額等合計	74
		純資産の部合計	27,903
		負債及び純資産の部合計	595,252

損益計算書

第104期 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科目	金額	金額
経常収益		6,326,544
資金運用収益	5,316,150	
貸出金利息	3,700,291	
預け金利息	260,052	
有価証券利息配当金	1,304,144	
その他の受入利息	51,661	
役務取引等収益	603,202	
受入為替手数料	318,208	
その他の役務収益	284,994	
その他業務収益	334,296	
外国為替売買益	22,646	
国債等債券売却益	286,870	
国債等債券償還益	15	
その他の業務収益	24,765	
その他経常収益	72,894	
償却債権取立益	66,825	
その他の経常収益	6,069	
経常費用		5,226,359
資金調達費用	134,453	
預金利息	131,604	
給付補填備金繰入額	863	
借入金利息	901	
その他の支払利息	1,084	
役務取引等費用	561,592	
支払為替手数料	97,934	
その他の役務費用	463,657	
その他業務費用	105,314	
国債等債券売却損	97,288	
国債等債券償還損	4,122	
その他の業務費用	3,903	
経常費用	3,814,427	
人件費	2,408,971	
物件費	1,264,523	
税金	140,933	
その他経常費用	610,571	
貸倒引当金繰入額	516,483	
貸出金償却	58,264	
その他の経常費用	35,822	
経常利益		1,100,184
特別利益		27,156
固定資産処分益	27,156	
特別損失		102,056
固定資産処分損失	1,100	
減損損失	100,955	
税引前当期純利益		1,025,284
法人税、住民税及び事業税	7,146	
法人税等調整額	△ 24,833	
法人税等合計		△ 17,687
当期純利益		1,042,971
繰越金(当期首残高)		178,139
当期末処分剰余金		1,221,111

第104期 剰余金処分

(単位：円)

当期末処分剰余金	1,221,111,801
----------	---------------

これを下記のように処分いたします。

剰余金処分数額	1,032,625,762
普通出資に対する配当金(年2%)	32,625,762
特別積立金	1,000,000,000
繰越金(当期末残高)	188,486,039

以上のとおりであります。

令和4年6月

甲府信用金庫

理事長	小田切 繁
専務理事	竹居 正人
常務理事	岩下 浩※
常勤理事	矢崎 勝也
常勤理事	小尾 好彦
常勤理事	岩下 浩※
常勤理事	山下 洋一
理事	北原 兵庫
理事	三森 中治
理事	吉澤 宏治

(注) ※の2名は、同姓同名の者であります。

上記の各項を監査した結果、すべて法令および定款に従い、正確であることを認めます。

令和4年6月1日

常勤監事	秋山 克人
監事	平出 亘
監事	久保嶋 仁

(注) 監事平出亘、久保嶋仁は信用金庫法第32条第5号に規定する員外監事です。

令和3年度の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

地区別総代一覧

総代の任期は3年で、定数は100人以上130人以内です。当金庫では、総代選任のために当金庫の営業地区を7地区の選任区域に分け、会員数に応じて各選任区域ごとに総代定数を定めております。

なお、令和4年3月31日現在の会員数は34,085人で、総代数は110人となっております。地区別の総代は、下記の皆さまに就任いただいております。

任期：令和4年3月30日から
令和7年3月29日まで

令和4年3月31日現在

甲府北地区 定数9名	長田 良一 滝田 雅彦 西中山 実	数野 三郎 丹沢 良二	輿水 隆司 内藤 博文	坂本 政彦 中込 徹
甲府 中央地区 定数10名	芦沢 俊行 岡 裕保 戸田 克己	雨宮 俊彦 金井 一憲 山本 武一	飯野 正久 近藤 栄一	藤石 友 社長 向山孝明 清水 栄一
甲府南地区 定数24名	浅川 有人 河阪 敏明 鈴木 政孝 中村 貞明 望月 和彦 山口 泰	上野 茂樹 山光 石油 副 社長 望月眞一 大新 工業 副 会長 大村克基 堀内 利彦 望月 尚 横内 応佳	荻野 寛二 清水 孝弘 露口 直彦 松本 一雄 森田 涼子 依田 道徳	カワサキ 藤 社長 川崎 真示 末木 重三 中込 武文 南宮 田倉 庫 社長 望月郁子 よっちゃん食品工業 藤 社長 金井芳朗
峡北地区 定数14名	秋山加代子 小野 雅子 深澤 哲郎 山寺英一郎	入江 薫 小宮山浩之 藤森 正司 山本 修	岩下 達也 仲山 一仁 船木 上次	内田 安雄 平賀 義洋 丸山 孝佳
峡東地区 定数25名	芦澤 一男 植野 正人 新谷 一男 鶴田 俊仁 保坂 一仁 三科 浩司	綱倉 義久 大村 洋 鈴木 貴文 土橋 千昭 堀内 実 向山 秀男	雨宮 清 甲斐 食産 副 会長 米山義智 地場亜紀子 根津 寿一 松坂 浩志 村田 政仁	池田 善一 佐野 強 辻 真由美 原田 孝典 松土 雪子 矢野 潔
峡中地区 定数26名	天野 晴夫 藤甲 斐 電 設 会長 角田眞三 河村二四夫 代田 一郎 中澤 宏幸 福沢 敏治 米山 正仁	井口 和則 片山 卓見 三枝 幹弥 田邊 文子 野中 完 藤 精 機 副 社長 新藤 淳 藤 渡 辺 商 店 会長 渡邊一	大島 和雄 川口 弘之 櫻本真由美 中央物産 副 会長 保坂吉彦 初鹿野玉和 藤フワワーセンターマップ 社長 松尾和子	小田切まき江 川手 一弘 藤サンシン精工 社長 土橋信廣 寺田 道彦 原田 哲 三宅 勝志
峡南地区 定数2名	石澤啓一郎	依田 理愛		

(注) 法人名で記載のある総代は法人総代です。(五十音順・敬称略)

店舗のご案内

本店営業部	甲府市丸の内2丁目	☎055 (222) 3322
湯村支店	甲府市湯村3丁目	055 (253) 1528
緑町支店	甲府市若松町	055 (233) 0148
南支店	甲府市住吉1丁目	055 (235) 1271
国母支店	甲府市国母5丁目	055 (226) 4422
西支店	甲府市德行2丁目	055 (226) 3024
東支店	甲府市和戸町	055 (237) 6831
朝気支店	甲府市朝気1丁目	055 (237) 3511
大里支店	甲府市大里町	055 (241) 3521
塩山支店	甲州市塩山上於曾	0553 (33) 3233
加納岩支店	山梨市上神内川	0553 (22) 2331
山梨南支店	山梨市下神内川	0553 (22) 3911
韮崎支店	韮崎市本町1丁目	0551 (22) 1535
藤井支店	韮崎市藤井町	0551 (23) 2611
長坂支店	北杜市長坂町	0551 (32) 3235
櫛形支店	南アルプス市小笠原	055 (282) 6311
白根支店	南アルプス市在家塚	055 (283) 8339
昭和支店	中巨摩郡昭和町	055 (288) 0900
田富支店	中央市山之神	055 (273) 2611
玉穂支店	中央市若宮	055 (274) 3100
甲斐支店	甲斐市大下条	055 (277) 5831
竜王南支店	甲斐市西八幡	055 (279) 2171
石和支店	笛吹市石和町	055 (263) 9393

ローンコミュニティ昭和(昭和支店内) ☎055 (288) 0031

店外キャッシュコーナー 店舗名一覧

● 甲府駅前出張所	● パークス出張所
北出張所	● パークス敷島店出張所
● オギノ上今井店出張所	● 警が丘出張所
● フレスポ甲府東出張所	一宮出張所
● オギノイーストモール出張所	ツルハ笛吹出張所
● オギノ甲州店出張所	● イオン石和店出張所
● オギノ山梨ショッピングセンター出張所	● 大泉出張所
● イッツモア山梨店出張所	● きららシティ出張所
● ラザウォーク甲斐双葉出張所	● *イトーヨーカドー甲府昭和店出張所
● オギノ峡西出張所	● *イオンモール甲府昭和出張所
増穂出張所	● *フォレストモール甲斐竜王出張所
● オギノ八田店出張所	

● ATMは日曜・祝日も稼働

* 山梨信金が主幹事の共同設置 ATMのため当金庫の通帳繰越手続きはできません。



甲府信用金庫

山梨県甲府市丸の内2丁目33番1号
TEL 055 (222) 0231



甲府しんきんホームページ <http://www.kofushinkin.co.jp>
 お客さま相談窓口 フリーダイヤル 0120-512-038
 お客さま意見・要望窓口 フリーダイヤル 0120-115-240